特定非営利活動法人ジェン
〒162-0824
東京都新宿区揚場町 2-16 第二東文堂ビル 7 階
（電話）03-5225-9352（Fax）03-5225-9357

ボランティアにご参加くださるみなさまへ

東北地方太平洋沖地震について

2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分、日本の災害史上初 M 9．0 の地震が宮城県沖で発生しました。震源地に最も近い宮城県で震度 7、福島県で 6 強の地震と、最大 10m もの津波、火災により、死者・行方不明者が合わせて 2 万人以上に達しました。倒壊家屋数は約 2 万軒、避難者数は 30 万人を超えるなど、人々は厳しい避難生活を余儀なくされています。日を追うごとに避難所から自宅へ帰宅する被災者が増加している一方、地域ごとが津波で流されるなどの壊滅的な被害を受けた地域の人々は、もとの家に帰還できる見通しがたたず、長期的な避難生活を送ることが予想されます。

JEN の支援について

JEN では、地震発生後の 13 日に宮城県に第一陣を派遣。仙台市の避難所、介護施設への緊急支援物資（衣料品、衛生用品、炊き出し用生鮮食品、燃料など）の配布や避難所での炊き出しを実施しました。その後、より被害が甚大な宮城県石巻市に拠点を移し、避難所や主に自宅に避難されているために支援の届かない方々に、物資配布や家屋の泥や瓦礫の除去、コミュニティ・スペースの設置、心のケアのための短期プロジェクトを実施しています。

JEN では、今後、被災者の方々が一刻も早く元の生活と未来への希望を取り戻すまでのサポートとして、産業復興や心のケアを含めた中長期的な生活自立支援を実施していく予定です。

ついては、復興までの長い道のりの各段階を支えてくださるボランティアの方を募集いたします。

ご参加の条件

- **現地まで自力でお越しいただける方（現地集合・現地解散となります）**
- **宿泊所での共同生活ができること（寝袋をご持参いただきます）**
- **寝袋、滞在中の自分の食料品と飲料水、作業着、装備を持参できること。**
- **保険に加入していること。**

作業内容について

支援のニーズに合わせ、その時に必要な作業をお手伝いいただく予定です。
例えば、

- 個別家庭での汚泥・がれきの除去（津波により大量に流されてきた泥、ゴミ、がれき、水に浸かった家財道具の片づけ）
- 家庭や仮設住宅への物資配布補助

- 漁業復興に向けた活動の補助
- 子どもの遊び場であり、地元の方々の拠り所である沢や寺社、公園等の清掃

ニーズの変化や被災地の状況によりその都度最も緊急性が高い作業を行いますので作業内容は随時変わります。どうかご了承いただけますようお願いいたします。

ボランティア中の現地での生活について

宿泊

- 宿泊所:「JEN 渡波宿泊所」(宮城県石巻市渡波字山崎48-2)
  ※上記(定員20名)が満員の場合、「JEN 専修大学脇事務所」(石巻市南境新水戸 284-1)
- 寝袋を使って共同で寝泊りしていただきます。元民家で床は畳です。
- 水洗トイレ、水道が使える台所があります(作業中は近辺の避難所にあるトイレをお使いいただきます)
- クリーニングはありますが、車が必要です。手洗いでの洗濯は可能です(ハンガー等は持参)
- お風呂、シャワーはありません。車で約30分走ると温泉(道の駅　上品の郷)があります。
- 宿泊所は21時に消灯です。お休みの方のご迷惑にならないようご配慮願います。

食事

- 食事は各自で持参していただくか宿泊所付近で購入していただくことになります。徒歩で行ける範囲内には、コンビニ(約10分)、魚屋、酒屋があります。スーパーへは車が必要です。
  石巻でご購入いただければ石巻の経済振興につながりますが、余震などの影響で食料が手に入らない可能性がありますので、数日分の水と食料は必ずご持参ください。
- 宿泊所には携帯コンロがあります。カップ麺やレトルト用のお湯を沸かすことは可能です。
- 冷蔵庫はありません。
- 作業中は宿泊所に戻らないため、昼食時にはお湯が使えません。お湯を必要としない食料をお持ちください。また、体を動かす作業ですので、十分な飲料が必要です。

安全と衛生について

出発前から体調管理に注意してください。睡眠不足、前日までのお酒の飲みすぎは熱中症のもとです。体調に不安がある方は、参加をお控えください。

現場の作業内容や天候等によりスタッフが危険と判断した場合にはスタッフが作業を中止しますので、その指示に従っていただくようお願いいたします。現地では余震が続いています。作業前に避難場所をスタッフが説明しますので、時間には余裕を持って集合してください。

服装と準備

- 作業エリアには、ガラス、釘などが散乱しています。怪我をしないよう、必ず、安全靴または厚手の長靴を着用してください。長靴の場合には踏み抜き防止を装着してください。
- 作業中の切り傷からバイ菌が入り大きな怪我につながる場合があります。長そで・長ズボン・

手袋を着用し、肌の露出を抑えましょう。

- 防塵マスクの準備をお願いします。特に屋内の泥出しでは埃が舞い、マスクは必須です。
- 熱中症対策をお願いします。特に夏場は通気性の良い服装をご準備ください。帽子やタオルを忘れずにお持ちください。
- 津波に流されて堆積した泥の中に含まれる粉塵には様々な物質が含まれています。素手で触ったりしないようにしましょう。また、目に入ったりした場合には、水で洗えるように、真水を携帯しましょう。

作業中の休憩

作業の合間には休憩をこまめに取り、水分や塩分を取りましょう。疲れを感じた場合、具合が悪い場合には、すぐに作業を中断して監督者（JEN スタッフ）にお声掛けください。

お申込み＆ボランティア保険加入について

- 別紙「参加申し込み用紙」に必要事項をご記入のうえ、FAX （03-5225-9352)またはメール（volunteer@jen-npo.org）で、JEN 東京本部事務局東北ボランティア担当宛にお送りください。
- ボランティア保険にご加入いただくことは必須です。お申込みについては、お近くの社会福祉協議会等でご自身にて加入をお願いいたします。一度加入すると 2012 年 3 月末まで有効です。
- 2回目以降のご活動に関しては、オリエンテーションと申込用紙は不要です。メールにて①ご到着日とご出発日②ご活動日③宿泊希望日④交通手段をお知らせください。週末は特にご希望が多いため、早めのお申込をお勧めいたします。

集合・解散およびボランティアスケジュールについて

基本的に現地での集合、現地での解散となります。初参加の方は毎週火曜日１７時４５分に石巻駅前のJEN事務所、もしくは毎週土曜日９時にJEN専修大学脇事務所に集合していただきます。オリエンテーション後のご活動は、日帰りでも長期滞在でも可能です。

交通手段について

仙台⇔石巻：宮城交通 ミヤコーバス（問合せ先　022-771-5310、平日 9:00～17:30）
高速バスは曜日によって石巻駅―石巻専修大学間を運休しています。詳細は大学HPなどでお調べください。
東京から石巻直通の高速バスも運行しているようです。発着時間や場所を事前にお調べください。

持ち物（7月－9月）

	持ち物	備考
□	寝袋	宿舎には布団の用意がございません。寝袋、タオルケットなど、布団代わりになるものをお持ちください。
□	長袖・長ズボン	作業用に汚れてもよい服をご用意ください。ケガの防止のため、必ず長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を控えてください。熱中症の予防のため、通気性のよい服装を心掛けて下さい。
□	長靴（鉄板の中敷き装着）・安全靴	地面には瓦礫が。ケガの防止のために十分に厚手の長靴または安全靴をお持ちください。長靴には必ず踏み抜き防止を装着してください。
□	滞在期間中の飲料水	2ページ「ボランティア中の現地での生活について」をご覧ください。
□	滞在期間中の食料	2ページ「ボランティア中の現地での生活について」をご覧ください。
□	防塵用マスク	作業に使います。顔とのすき間ができにくいカップ式などのマスクを必ずご持参ください。
□	帽子	熱中症を予防します。
□	ゴーグル	目に粉塵が入るのを防ぎます。あればお持ちください。
□	着替え、下着	十分にお持ちください。
□	タオル（汗拭き用・バスタオル）	作業で首を保護するのにも使います。汚れてもよいものをお持ちください。
□	洗面用具	
□	厚手のゴム手袋・グローブ	瓦礫を扱うため丈夫なものをお持ちください。（軍手は水に弱いのでゴム手袋をご持参ください。軍手はゴム手袋の中にはめるなら汗を吸うので有効です）
□	銀シート	寝袋の下に敷くと暖かいのであると便利です。
□	雨合羽（上下）	
□	常備薬	常備薬が必要な方は必ずご持参ください。
□	健康保険証のコピー	
□	参加のしおり	本しおり
□	懐中電灯	夜間の移動の際に必要です。必ずご用意ください。
□	梅干し	熱中症を防ぐために塩分が必須ですので、お勧めします。
□	水筒	目や手を洗える水を入れておくのがベストです。
□	ウエストポーチやディバッグ	作業時に貴重品や荷物を身に着けておくために便利です。
□	アルコール手指消毒剤	あると衛生的です。

※　現地は電波状況が良くないので携帯電話を使用できない可能性があります。緊急連絡先として、JEN 東京事務所（03-5225-9352）をご家族や勤務先にお伝えください。

連絡先

連絡先　：　JEN 東京本部事務局　ボランティア担当　（03－5225－9352）

現地での緊急連絡先：　JEN ボランティア調整員　二村（080－3303-6719）

※緊急時にご連絡ください。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人ジェン(JEN)
電話　　:03－5225－9352
FAX　　:03－5225－9357
E-mail　:volunteer@jen-npo.org

ご参加される皆さまへ
～現地での活動にあたっての留意点とご参加のお礼

震災から半年が経過しようとしています。地域差はありますが復興は着実に進んでおり、地区によっては震災のつめ跡を感じさせない街並みもあります。それでも、そのようなエリアを一歩出ると、まだまだ支援の届かないエリアが多く残っています。電気は通っていますが供給量にはあまり余裕がなく、家庭ゴミの回収も自治体の処理能力をはるかに超えています。「瓦礫」、「被災者」、「避難民」といった言葉は、報道等では一般的に使われていますが、現地で被災された方々と話しをされる際には、このような言葉の使い方にはご配慮願います。ちょっとした言動が、事故を起こしたり、被災された方々やご関係者の感情を傷つける可能性があることにご留意ください。

皆様一人一人の力と、その言動に勇気づけられる地元の方々のパワーが復興には欠かせません。JEN と共に活動していただける皆様のお力添えに感謝するとともに、石巻へのお越しをスタッフ一同お待ち申し上げております。